

機密

部外送付

閣下第二二四號

起 昭和十八年五月一日 閣議 昭和十八年五月三日 施行 昭和十八年五月三日

内閣總理大臣

為

内閣書記官長

為

外務大臣

為

海軍大臣

為

商工大臣

為

大東亞大臣

為

内務大臣

為

司法大臣

為

遞信大臣

為

陸軍大臣

為

大藏大臣

為

文部大臣

為

鐵道大臣

為

陸軍大臣

為

陸軍大臣

為

農林大臣

為

厚生大臣

為

別紙企畫院總裁上申

昭和十八年度電力動員計畫ニ關スル件

右閣議ニ供ス

通牒案

昭和十八年五月三日

内閣書記官長

企畫院總裁宛

依命通牒

昭和十八年五月一日上申(企畫院上申)第九九號)昭和

十八年度電力動員計畫ニ關スル件  
上申ノ通閣議決定相成候

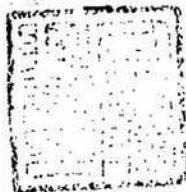
内

閣

企畫院上申第九九號

昭和十八年五月一日

企畫院總裁 鈴木貞



内閣總理大臣 東條英機 殿

昭和十八年度電力動員計畫ニ關スル件

昭和十八年度電力動員計畫ニ關スル件別紙ノ通閣議決定相成様致度  
此段及上申候

主任 第五部第二課 加藤茂師

内閣





昭和十八年度電力動員計畫綱領(案)

企 計 電 〇 〇 三 號	小 番 號 一 號	昭 和 十 八 年 五 月 三 日	企 畫 院
---------------------------------	-----------------------	---	-------------



目次

昭和十八年度電力動員計畫綱領

	頁
第一章 總則(第一―第五)……………	一
第二章 電力ノ生産ニ關スル事項(第六―第十)……………	二
第三章 電力ノ配管ニ關スル事項(第十一―第十八)……………	四
第四章 電力ノ供給確保ニ關スル事項(第十九―第二十二)……………	七
第五章 電力動員体制ノ整備ニ關スル事項(第二十三―第二十七)……………	九

昭和十八年度電力動員計畫綱領

第一章 總則

第一 昭和十八年度電力動員計畫ハ戰局進展ノ擴大化ニ鑑ミ特ニ直接  
戰力ノ増強ヲ目途トシテ國家總動員計畫及生產力擴充計畫ト緊密  
ナル連繫ノ下ニ之ヲ策定ス

本年度ニ於ケル電力ノ生産計畫並ニ配當計畫ハ別紙計畫表ノ如ク之  
ヲ定ム

第二 電力需給ノ逼迫甚シキ現状ニ於テ更ニ當面ノ戰爭遂行上必要ト  
スル大是ノ新規需要ヲ充足スル爲電力ノ生産配當並ニ消費ニ關シ特

ニ左ノ事項ニ重點ヲ置キ適切ナル方策ヲ講ズ

一 軍需ニ對スル供給ヲ確保シ充足軍需及超重點産業ヲ對シテハ計

畫生産ノ達成ヲ目途トシテ電力ノ供給ヲ確保スルト共ニ其ノ他ノ

重要産業及國民戰時生活ノ維持ニ必要トスル電力ニ對シテハ供給  
力ノ限度ニ於テ優先的ニ之ヲ配當ス

二 現有電力ヲ動員シ重要物資ノ生産ヲ極力増強スル爲豐水期間ノ  
深夜間ニ於ケル生産ヲ計画的ニ増強ス

三 當面ノ戰時需要充足ヲ目途トシテ強力ナル戰時的建設方式ヲ確  
立シ電力ノ緊急開發ヲ實施ス

四 工場鑛山及國民生活ノ全般ヲ通ジ電力使用ノ合理化ヲ徹底的ニ  
實施シ以テ供給力ノ増強ニ努ム

五 湖沼濬渫等ノ利用ヲ一層強化スルト共ニ電力系統ノ合理化ヲ促  
進シ電力損失ノ輕減ニ努ムル等現有電力施設ノ活用ヲ徹底的ニ圖

並ニ重要食糧確保  
ニ對シテハ計  
畫的ニ生産  
力ヲ確保ス



化シ供給力ノ緊急増強ヲ圖ル

六 重要産業ニ對スル電力ノ供給ヲ確保シ且冬季ニ於ケル石炭供給

ノ緩和ニ資スル爲電氣事業者ヲシテ計費貯炭ヲ實施セシム

七 電氣料金制ヲ變更シ電力使用ノ合理化並ニ消費節減ノ徹底ヲ期

ス

八 關内各地域並ニ各地區ニ於ケル電力ノ供給ヲ均衡化シ産業立地

ト動力トノ総合調和ヲ圖ル爲新設工場ノ立地ニ規正ヲ加フル

九 緊急事態ニ對シ電力ノ供給ヲ確保スル爲電力施設ノ防衛電力

ノ配給等ニ行高急ノ方策ヲ講ズ

十 電氣專業並ニ之ガ運轉上密接ナル關聯ヲ有スル專業ノ勤員態勢

ヲ整備ス

第三 本計畫ノ圓滿ナル實ニテ關内爲所要物資勞務及資金ヲ確保ス

第四 電力ノ主管官廳ハ別ニ定ムル所ニヨリ本綱領ニ基ク實施計畫ヲ

策定シ其ノ要領ヲ企畫院ニ提出ス

前項ノ實施計畫中重要事項ノ變更ヲ必要トスル場合ハ豫メ企畫院ニ

連絡ノ上措置ス

第五 電力ノ主管官廳ハ別ニ定ムル所ニ依リ本綱領ニ基ク諸般ノ管轄

ヲ調査シ企畫院ニ提出ス

第六 電力ノ生産ニ關スル事項

第六 戰時緊急需要ノ充足ヲ目途トシテ電力ノ供給力ヲ應急増強スル

爲左ノ方策ヲ實施ス

一 戰時的建設方式ヲ確立シ建設速度ノ劃期的向上ヲ圖ルト共ニ極

力重要資材ノ節減ニ努ム



二 冬季ニ於ケル電力需給ノ逼迫ヲ緩和スル爲現ニ工事中ニ係ル水力發電所中早期完成ノ見込アルモノニ資材勞務ヲ重點的ニ集中シ十八年末完成ヲ目途トシテ特段ノ措置ヲ講ズ

三 發電用炭需給ノ趨勢ニ鑑ミ石炭ニ對スル依存性ヲ脱却セル動力体勢ヲ確立ス

四 既設送配電設備ノ整理改修ヲ行ヒ資材機材等ノ回收ニ努ムルト共ニ利用度低キ施設ノ轉用ヲ強力ニ實施ス

七 現有電力施設ノ活用ニヨリ電力供給力ヲ緊急増強スル爲左ノ措置ヲ講ズ

一 龍沼ノダム、溪流ノ取入及堰堤ノ嵩上げ等ナリ層強化シ水力供給力ヲ本年度夏季ヲ目標トシテ計画的ニ増強ス

二 水車效率ノ向上、水路ノ改修等ヲ促進シ現有電力施設中特ニ水力發電所ノ改善ニ努ム

三 火力發電所ノ補修及改善ハ産炭地域阪神地域等ノ主要火力發電所ニ主力ヲ集中シ電力供給力ノ重點的増強ヲ期ス

電力潮流ノ是正進相装置ノ施設位置ノ調整等ノ上昇等電力系統ノ合理化ヲ促進シ電力損失ノ軽減ニ努ム

八 電力設備ノ綜合機能ノ發揮ヲ期スル爲自家用電氣施設ニ關シ左ノ措置ヲ講ズ

一 自家用電氣施設者ヲシテ別紙計費表ノ電力生産ノ完遂ヲ圖ラシムルト共ニ之ヲ爲必要ナル發電用炭ノ取得ニ關シ万全ノ措置ヲ講ズ

二 自家用電力施設ニ對スル配網ヲ強化シ電氣供給事業用施設トノ一元的運用態勢ヲ強化シ以テ動力資源ノ合理的運用ヲ期ス

第九 現有火力發電力ノ維持向上ヲ圖ル爲道正炭ノ確保ニ努ムルト共  
ニ非道正炭ノ消化ヲ容易ナラシムル爲火力發電所ノ設備ヲ重點的ニ  
改良ス

第十 火力發電所ニ於ケル貯炭激減ノ現狀就ニ冬季ニ於ケル後備用炭  
ノ消費増加ノ趨勢ニ鑑ミ本年十二月末ニ至ル期間ニ於テ計費貯炭ヲ  
實施スル爲左ノ措置ヲ講ズ

一 貯炭目標ヲ左ノ通トス

本州 八七萬噸

四國 一〇萬噸

九州 八萬噸

二 右ノ計費貯炭ヲ實施スル爲生産ニ直接ノ關聯ヲ有セザル電力需  
要ニ對シテ八年間ヲ通ジ電力制限ヲ實施シ極力石炭消費ノ抑制ニ  
努ム

三 貯炭目標ノ確保ヲ目途トシテ計費貯炭ノ入炭ヲ持續セシムル爲關  
係各廠並ニ會社間ニ於テ常時緊需ナラシメ維持シ得ル如ク措置  
ス

### 第三章 電力ノ配當並ニ消費ニ關スル事項

第十一 電力ノ配當ニ當リテハ左ノ方針ニヨリ措置スルト共ニ工場、  
事業場毎ニ箇別的重點配當ヲ實施ス

一 電需ニ對シテハ電力ノ供給ヲ確保ス

二 左ノ需長ニ對シテハ計費生産ノ達成ヲ目途トシテ電力ノ供給ヲ  
確保ス



(イ) 充足算需

(ロ) 鐵鋼石炭輕金屬船舶及航空機ノ生産ノ爲必要トスル電力  
主要食糧生産ノ爲必要トスル電力

三 左ノ需要ニ對シテハ供給力ノ限度ニ於テ優先的ニ電力ヲ配當ス

(ハ) 前項(ロ)以外ノ計費産業ニ於テ生産ノ爲必要トスル電力

(ニ) 主要食糧生産ノ爲必要トスル電力

(イ) 六通局電力

(ロ) 公共團電力

(ハ) 國民戰時生活維持ノ爲必要トスル電力

● 配當及計費産業ト密接ナル關係アル一般産業ニ於テ重要物資ノ生産ノ爲必要トスル電力

四 其ノ他ノ需要ニ對シテハ極力之ヲ壓縮ス

第十二 新規需要ニ對シテハ前項ノ方針ニヨリ嚴選ノ上配當ヲ決定スルノ外左ノ如ク措置ス

一 工場ノ新増設ハ極力電力供給ノ可能性ヲ確認ノ上計費セシムルト共ニ常ニ電力ノ開發計畫ト密接ナル聯繫ヲ保持スル如ク措置シ極力生産計畫ト動力計畫トノ破行ノ是正ニ務ム

二 緊要ナル新規需要ニ對シテハ施設ノ擴充ニヨルモノノ外潤滑油澆流等ノ利用強化電力使用ノ合理化等ニヨル増加供給力及ビ企業整備ニ件ヲ需要ノ波込ニ對應スル供給力ヲ動員シ極力其ノ充足ニ努ム

第十三 現有電力ノ動員ニ重要物資ノ生産増強ヲ目途トシ晝水期間及深夜間ニ於ケル生産ヲ計費的ニ増強ス



之ガ爲左ノ措置ヲ講ズ

一 原材料ノ配當輸送ノ確保勞務ノ充足ニ付特段ノ措置ヲ講ズ

二 電氣料金ヲ季節的時間のニ調整ス

三 計盤生産目標ニ到達セル企業並ニ其ノ従業員ニ對シ獎勵的措置ヲ講ズ

四 機器ノ補修施設ノ改善等ハ計盤的ニ湯水期間ニ於テ之ヲ勵行セシム

第十四 計盤生産体制ニ即應シ所要ノ電力ヲ配當スル爲既往ノ實績ヲ基準トスル配當方式ヲ是正シ工場別ニ計盤生産基準ヲ基準トシテ電力ノ消費限度ヲ定ム

右目的ノ達成ヲ容易ナラシムル爲要スレバ關係法令ヲ改正ス

第十五 電力消費ノ節約ト其ノ合理化ヲ強化徹底シ以テ電力供給力ノ緊急増強ヲ期スル爲左ノ措置ヲ講ズ

一 國民的電力賦納運動ヲ展開シ法令ニヨル規正ニヨルノ外電力消費ノ全般ニ亘リ極力其ノ減少ニ努ム

二 電力ノ合理的の使用ヲ徹底スル爲産業別ニ標準電力使用量ヲ設定シ企業擔當者ヲシテ積極的ニ之ヲ遵守セシム

三 電力消費ノ節減ト其ノ合理化ニ關シ各般ノ積極的措置ヲ講ズルト共ニ生産ニ支障ナキ限度ニ於テ極力契約電力ノ壓縮ニ努ム

第十六 電力需給逼迫ノ程度ニ應ジ直チニ之ニ即應スル消費基準ヲ實施シ得ル如ク當ニ其ノ懸念ヲ除ク

第十七 電燈及小口電力需要ニ對シテハ其ノ使用目的ニ應ジ左ノ措置ヲ講ジ消費規正ノ徹底ヲ期スルト共ニ國民戰時生活ノ實態ニ即應セシム

一 家庭用電燈及電力需要ニ對シテハ國民生活ノ必需ナル性質ニ鑑ミ家族員數ヲモ考慮ニ加ヘタル適當ナル使用標準ヲ定メ消費規正ノ強化ヲ圖ルト共ニ國民戰時生活ノ實態ニ鑑ミ緊要ト認ムルモノニ對シテハ實情ニ即シ時配ヲ爲ス等適切ナル措置ヲ講ズ

二 定額電燈需要家ヲシテ電力ノ消費規正ニ協力セシムル爲低燃電

球ノ使用、不用燈ノ消燈勵行等適切ナル措置ヲ講ズ

三 醫療用電燈並ニ電力需要ニ對シテハ其ノ供給ヲ確保ス

四 事務所用ノ工場及學校用電燈需要ニ對シテハ作業能率及保健等ヲ考慮ノ上適當ナル使用標準ヲ定メ之ヲ遵守セシム

五 營業用電燈及電力需要ニ對シテハ徹底的ニ其ノ消費規正ヲ強化ス

六 自家用電氣施設者ニ對シテモ一般需要者ト同一ノ基準ニヨリ消費規正ヲ嚴ニ勵行セシム

七 電燈及小口電力ノ消費規正ヲ徹底スル爲所定ノ標準使用電ヲ超過スルモノニ對シ特別料率例ヲ適用ス

第十八 電力消費規正ノ實施ニ當リテハ需要區分ニ再檢討ヲ加ヘ本動員計費ノ方針ニ則リ必要ナル改正ヲ行フ

第四章 電力ノ供給確保ニ關スル事項

第十九 電燈、充足電需及超重點廠等ニ對スル電力ノ供給ヲ確保スル爲左ノ措置ヲ講ズ



一 異常湯水ニ際會シ甚シク電力需給ノ均衡ヲ失スル虞アル場合ニ於テハ右ノ超重點需要ニ對スル電力ノ供給ヲ確保スル爲メ發電用炭ノ補給ニ付緊急措置ヲ講ズ

二 異常湯水其ノ他非常事態ノ發生ニ際シテモ周波數又ハ電壓ノ低下等ヲ極力防止シ超重點需要ニ對スル電力ノ供給ニ遺憾ナカラシム

三 輕金國ノ生産ヲ確保スル爲メ必要アル場合ハ特殊電力ノ需給契約ヲ當時電力ノ需給契約ニ變更セシム

第二十 主要電力設備ニ對シ防空設備ヲ防備ノ態勢ヲ一層強化スルト共ニ常一電力ノ需給設備ニ電力設備防備ノ面線ニ努ム

第二十一 電力需給ノ確保ニ動力資源ノ賦存状態ニ鑑ミ内地ニ於ケル産業ノ立地ヲ左ノ如ク規正ス

一 電力需給ノ逼迫甚シキ現狀ニ於テ更ニ大東亞戰爭遂行上緊急且本内地ニ立地セシムベキ重要産業ノ電力需要ヲ充足スル爲メ電力消費ノ節減ヲ目途トシテ生産形式ノ轉換ヲ行ハシムルト共ニ要スレバ非木質燃料ニ其ノ一部ヲ電力需給上比較的餘裕ヲ有スル地域ニ移駐ス

二 電氣化學工業等電力ノ大消費産業ノ内地ニ於ケル新増設ハ電力之ヲ抑制ス

三 發電用炭需給ノ過剩ニ鑑ミ近畿中國四國地方ニ於テハ軍需産業及地下資源開發産業ヲ除ク外極力其ノ立地ヲ規正ス

第二十二 電力施設ハ其ノ整備ニ時ニ長期ノ年月ヲ要スル特徴ニ鑑ミ長期ニ亘ル施設整備計畫ヲ樹立シ電力需給ノ履行ノ是正ニ努ム



第五章 電力動員態勢ノ整備ニ關スル事項

第二十三 大東亞ヲ通ズル電力動員ノ基底ヲ培養シ特ニ中核地域ニ於ケル電力動員機能ヲ強化スル爲眞ニ現下ノ實情ニ即應セル適切ナル周波數統一實施計畫ヲ樹立シ遂次之ガ實現ヲ期シ得ルニテ準備ス

第二十四 電氣工專業ノ整備ヲ促進シ配電事業ノ運営ニ協力セシム  
電氣工專業ノ整備ニ當リテハ其ノ特殊性ニ鑑ミ特ニ經營態勢ノ向上ヲ期シ得ル如キ体制トス

第二十五 臺灣ニ在リテハ電力動員体制ヲ強化スル爲テノ措置ヲ講ス  
一 電氣專業ニ對テは制度強化シ電力ノ建設並ニ運用ニ於ケル諸般ノ國家的資力ニ應ヘシム

二 東西連絡線等電線ノ建設準備ヲ進メ不特定電力ノ效果的利用ヲ圖ルニ共ニ電力動員能力ノ増強ヲ期ス

第二十六 樺太ニ於テハ電氣供給事業ノ育成強化ヲ圖リ特ニ重要地區間ニ於ケル送電線路ノ強化ニ付準備ス

第二十七 鴨綠江水系發電所ノ運用ニ付テハ詳細地域ニ於ケル管面ノ産業計畫ノ遂行ト電力需給ノ實情ニ即應シ綜合的觀點ヨリ合理的ニ之ヲ行フ

15

昭和十八年度電力動員計畫表

第一  
部  
電力  
部  
秘

電力  
部  
秘

企 業 院	昭和十八年五月三日	小 番 號 上 號	企 計 ノ 電 〇 〇 四 號
-------------	-----------	-----------------------	--------------------------------------



昭和十八年度電力動員計畫表目次

一 總括表

第一 昭和十八年度電力生產計畫

第一表 電力量需給對照表：：：：：頁

第二表 最大電力需給對照表：：：：：頁

第二 昭和十八年度電力配分計畫

第三表 電力電配當表：：：：：頁

第四表 最大電力配當表：：：：：頁

二 明細表

第一 地域細別電力生產計畫

第五表 內地電力需給對照表：：：：：頁

第六表 最大電力需給對照表：：：：：頁

第七表 電力電配當表：：：：：頁

第八表 最大電力配當表：：：：：頁

第九表 內地最大電力配當表：：：：：頁

第十表 朝鮮最大電力配當表：：：：：頁

第十一表 臺灣最大電力配當表：：：：：頁

第十二表 臺灣電力需給對照表：：：：：頁

第十三表 臺灣最大電力需給對照表：：：：：頁

第二 地域、需用細別電力配分計畫

第十四表 內地電力需給對照表：：：：：頁

第十五表 最大電力需給對照表：：：：：頁

第十六表 電力電配當表：：：：：頁

第十七表 最大電力配當表：：：：：頁

第十八表 內地最大電力配當表：：：：：頁

第十九表 朝鮮最大電力配當表：：：：：頁

第二十表 臺灣最大電力配當表：：：：：頁









第三表 昭和三十八年度電力配分計画  
 第二表 電力需要当表

地域	種別				合計
	A	B	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	
内地	五二六、三〇〇	九四三、八〇〇	二、〇三三、〇〇〇	二、七六六、一〇〇	三六、三三九、〇〇〇
朝鮮	一八、一〇〇	二、三七〇	—	五、〇九九、六〇〇	六、七八一、三八一
台湾	三、五〇〇	—	二、二一〇	九、〇八八、七二七	一、四一七、七〇八
計	五三六、八〇〇	九四五、九七〇	二、〇三三、〇〇〇	三、八三八、七二七	四四、五三七、三八九

(単位 帯電地十キロワット時)

第一表 最大電力需要当表

地域	種別				合計
	A	B	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	
内地	一五、〇〇〇	三六六、〇〇〇	六六九、〇〇〇	二、七六六、〇〇〇	六、〇九〇、〇〇〇
朝鮮	三、七八〇	五、七六〇	—	九、九五〇	一〇、九二七、三三〇
台湾	六、三〇〇	六、七七〇	二、三九〇	二、五二五、六〇〇	二、三三八、三五五
計	二九、〇八〇	四三八、五三〇	六七一、三九〇	三、八三八、一〇〇	七、三三四、五五五

(単位 帯電地十キロワット時)

70

第一 地域別電力生産計画



第五表 内外地別電量供給対照表  
其ノ一 電力量(百萬瓩時)供給対照表

(單位 需要地 千ワット時)

地域種別		既設		動力供給		其他		計		想定需要		過不足		配當量	
地域種別	別	火	水	火	水	火	水	火	水	火	水	火	水	火	水
内地	計	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
		1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
		1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
外地	計	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
		1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
		1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
朝鮮	計	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
		1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
		1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
臺灣	計	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
		1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436
		1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436	1,375,522	1,623,436











道			九州			四國			東			北						
事業用			計			事業用			計			事業用			計			
計	水力	火力	計	水力	火力	計	水力	火力	計	水力	火力	計	水力	火力	計	水力	火力	
1,850,000	990,000	1,060,000	5,870,000	3,560,000	2,310,000	4,270,000	3,900,000	1,010,000	3,530,000	4,000,000	2,300,000	4,990,000	3,550,000	1,740,000	3,800,000	3,600,000	1,900,000	3,900,000
1,340,000	1,340,000	—	1,060,000	—	—	1,060,000	—	—	—	—	—	1,600,000	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,390,000	1,060,000	1,213,000	5,670,000	3,220,000	2,450,000	4,430,000	3,000,000	1,430,000	3,460,000	3,830,000	1,360,000	4,350,000	2,550,000	1,740,000	3,780,000	3,500,000	1,900,000	3,700,000
1,390,000	—	—	2,980,000	—	—	2,610,000	—	—	2,450,000	—	—	4,910,000	—	—	3,860,000	—	—	—
—	—	—	1,380,000	—	—	1,380,000	—	—	1,200,000	—	—	1,760,000	—	—	1,760,000	—	—	—
1,390,000	—	—	5,940,000	—	—	5,940,000	—	—	4,380,000	—	—	4,350,000	—	—	3,780,000	—	—	—



25

10

世 海					
計			自家用		
計	火力	水力	計	火力	水力
27,900,000	6,361,000	20,539,000	5,880,000	5,880,000	23,900
2,800,000		2,800,000			
27,900,000	6,361,000	20,539,000	5,880,000	5,880,000	23,900
27,900,000			5,880,000		
27,900,000			5,880,000		





道	九州			四國			津			地		
	計	自家用	事業用	計	自家用	事業用	計	自家用	事業用	計	自家用	事業用
事業用	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水	合 火 水
	六三〇〇〇 三三〇〇〇 一三七〇〇〇	八三三〇〇〇 五三九〇〇〇 一三〇四〇〇〇	三三三〇〇〇 三〇〇〇〇〇 三〇〇〇〇〇	六六〇〇〇 三三八〇〇〇 三三三〇〇〇	九一〇〇〇 八六〇〇〇 一〇五〇〇〇	一七〇〇〇 一七〇〇〇 —	一七四〇〇〇 九〇〇〇 一〇五〇〇〇	三六九〇〇〇 四五〇〇〇 五〇四〇〇〇	九四〇〇〇 三八〇〇〇 五六〇〇〇	四八〇〇〇 七〇〇〇 —	四八〇〇〇 七〇〇〇 —	四八〇〇〇 七〇〇〇 —
	二六〇〇〇 — 二六〇〇〇	六〇〇〇 — 六〇〇〇	— — —	六〇〇 — 六〇〇	二五〇〇〇 一〇〇〇〇 五〇〇〇	— — —	五〇〇〇 一〇〇〇〇 五〇〇〇	一〇〇〇〇 — 一〇〇〇〇	— — —	一〇〇〇〇 — —	— — —	— — —
	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —
	一八八〇〇〇 三五〇〇〇 一六三〇〇〇	八九九〇〇〇 五三九〇〇〇 三六〇〇〇〇	三三三〇〇〇 三〇〇〇〇〇 三〇〇〇〇〇	六八八〇〇〇 三五八〇〇〇 三三三〇〇〇	二〇六〇〇〇 九六〇〇〇 一〇〇〇〇〇	一五〇〇〇 一七〇〇〇 —	一八九〇〇〇 九〇〇〇 一〇〇〇〇〇	五五九〇〇〇 四五〇〇〇 五〇四〇〇〇	七四〇〇〇〇 三八〇〇〇 五六〇〇〇	一五五〇〇〇 七〇〇〇 —	一五五〇〇〇 七〇〇〇 —	一五五〇〇〇 七〇〇〇 —
	一八八〇〇〇 — —	九二六〇〇〇 — —	三三三〇〇〇 — —	六八五〇〇〇 — —	二〇六〇〇〇 — —	一〇〇〇〇 — —	一八九〇〇〇 — —	六四〇〇〇 — —	七四〇〇〇〇 — —	一五五〇〇〇 — —	一五五〇〇〇 — —	一五五〇〇〇 — —
	— — —	(一)二七〇〇〇 — —	— — —	(一)一七〇〇〇 — —	— — —	— — —	— — —	(一)五五〇〇〇 — —	— — —	(一)二五〇〇〇 — —	(一)二五〇〇〇 — —	(一)二五〇〇〇 — —
	一八八〇〇〇 — —	八九九〇〇〇 — —	三三三〇〇〇 — —	六八八〇〇〇 — —	二〇六〇〇〇 — —	一〇〇〇〇 — —	一八九〇〇〇 — —	五七九〇〇〇 — —	七四〇〇〇〇 — —	一五五〇〇〇 — —	一五五〇〇〇 — —	一五五〇〇〇 — —



海 邊					
計			自家用		
合成	火力	水力	合成	火力	水力
三二,〇〇〇	二一,〇〇〇	三九,〇〇〇	九,〇〇〇	八,〇〇〇	二,〇〇〇
三六,〇〇〇		三六,〇〇〇			
三二八,〇〇〇	二一三,〇〇〇	二六五,〇〇〇	九〇,〇〇〇	八八,〇〇〇	三〇,〇〇〇
三二八,〇〇〇			九〇,〇〇〇		
二八,〇〇〇			九〇,〇〇〇		



朝鮮 計	總計		地域 種別	動員 供給力	想定 需要	過不足	配当 量
	自家用	事業用					
水力 火力 合計	水力 火力 合計	水力 火力 合計	統設 施設	統設 施設	統設 施設	統設 施設	統設 施設
八八八三七〇 一三八八六〇 一〇二七〇三〇	六〇一六〇 六〇七三〇 一二〇八九〇	七八三〇〇 九六六三〇 一七四九三〇	一三六八〇〇	一〇四六六〇	一〇三〇〇〇	一	一〇三〇〇〇
一〇二七〇三〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一	一三六八〇〇
一〇二七〇三〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一	一三六八〇〇
一〇二七〇三〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一	一三六八〇〇
一〇二七〇三〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一	一三六八〇〇
一〇二七〇三〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一	一三六八〇〇
一〇二七〇三〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一	一三六八〇〇
一〇二七〇三〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一三六八〇〇	一	一三六八〇〇

其二(四)朝鮮最大電力需給対照表

(單位需要地キロワット)

14.

朝鮮 計	總計		地域 種別	動員 供給力	想定 需要	過不足	配当 量
	自家用	事業用					
水力 火力 合計	水力 火力 合計	水力 火力 合計	統設 施設	統設 施設	統設 施設	統設 施設	統設 施設
五二七六三三 六六三九八 一二四〇三一	七二八三 七八七九八 八六〇八一	五二六九一〇 三六五〇〇 八九一九一〇	八四二二〇〇	六二〇三〇〇	六四九三〇〇	一	六四九三〇〇
五二七六三三	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	一	八四二二〇〇
五二七六三三	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	一	八四二二〇〇
五二七六三三	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	一	八四二二〇〇
五二七六三三	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	一	八四二二〇〇
五二七六三三	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	一	八四二二〇〇
五二七六三三	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	一	八四二二〇〇
五二七六三三	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	一	八四二二〇〇
五二七六三三	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	八四二二〇〇	一	八四二二〇〇

其二(四)朝鮮電力需給対照表

(單位需要地キロワット時)







津			西			台			總計			地域	種別	
計			計			計			計					
合	火	水	合	火	水	合	火	水	合	火	水	合	火	水
10,310	430	9,880	10,100	3,330	6,770	10,310	430	9,880	20,410	470	19,940	20,620	500	20,120
3,330	1	3,330	3,330	1	3,330	3,330	1	3,330	6,660	2	6,660	6,660	1	6,660
4,000	430	3,570	4,000	3,330	630	4,000	430	3,570	8,000	860	7,140	8,000	700	7,300
1,660	1	1,660	1,660	1	1,660	1,660	1	1,660	3,320	3	3,320	3,320	1	3,320
1,300	1	1,300	1,300	1	1,300	1,300	1	1,300	2,640	2	2,640	2,640	1	2,640
1,660	1	1,660	1,660	1	1,660	1,660	1	1,660	3,320	3	3,320	3,320	1	3,320

其ノ三(四) 台湾最大電力供給対照表

△不足 相当量

32

第二 逸城 清田 細別 力配分 計登

17



地域	内地		種別	合計
	事業用	自家用		
A	一〇九、〇〇〇	六〇、〇〇〇	C <sub>1</sub>	一六九、〇〇〇
B	三五、〇〇〇	一四、〇〇〇		
C <sub>1</sub>	七六、〇〇〇	八、〇〇〇	C <sub>2</sub>	八四、〇〇〇
C <sub>2</sub>	三三〇、〇〇〇	四七四、〇〇〇		
D	三三八、〇〇〇	一四、〇〇〇	合計	五、三九三、〇〇〇
合計	六、〇九、〇〇〇	六、七三〇、〇〇〇		

其ノ二 最大電力配当表

(単位 需要地 キロワット)

地域	内地		種別	合計
	事業用	自家用		
A	五〇四、五〇〇	一七〇、〇〇〇	C <sub>1</sub>	六七四、五〇〇
B	九三六、〇〇〇	六六、〇〇〇		
C <sub>1</sub>	三〇三、一〇〇	三六、〇〇〇	C <sub>2</sub>	三三九、一〇〇
C <sub>2</sub>	二四九、三六〇	三九六、九一〇		
D	二四、五六〇	一四、三三〇	合計	三、六八八、〇〇〇
合計	三、六八八、〇〇〇	三、六八八、〇〇〇		

第七表 内外地別電力配当計画表  
其ノ一 電力量配当表

(単位 需要地 キロワット時)

		台 湾
計	自家用	事業用
六三〇	—	六三〇
六三〇	—	六三〇
二二九	—	三三九
一五二五六〇	百九五	一四一六〇
三四、三九五	二四、三九五	二九、九七〇
三三、三八五	三三、三四五	一八、七四八



地域	内地總計		本州中東部		甲 陸		康 地		四 國		九州	
	計	自家用	計	自家用	計	自家用	計	自家用	計	自家用	計	自家用
A	5,045,000	1,270,000	4,330,000	1,000,000	2,750,000	1,250,000	3,000,000	1,000,000	7,000,000	1,000,000	6,500,000	1,000,000
B	9,362,000	660,000	4,511,000	2,300,000	3,511,000	1,800,000	9,600,000	1,000,000	7,000,000	1,000,000	2,700,000	1,000,000
C <sub>1</sub>	2,031,000	360,000	610,000	96,000	1,485,000	1,000,000	8,400,000	1,000,000	2,270,000	640,000	1,534,000	1,000,000
C <sub>2</sub>	4,953,600	3,969,000	7,920,000	3,549,000	5,033,000	3,722,000	3,553,000	2,576,000	9,333,000	7,750,000	2,777,000	1,413,600
D	4,395,600	644,600	9,692,000	1,899,600	7,655,000	1,055,000	2,699,000	2,733,000	3,930,000	850,000	1,330,600	1,050,000
合計	33,651,000	3,688,000	29,993,000	6,109,000	27,850,000	4,899,000	37,860,000	4,999,000	23,460,000	9,340,000	4,433,000	1,520,900

第八表 地域細別電力配当計画表  
其ノ一(1) 内地電力配当表  
(單位 千キロワット時)

地域	内地總計		本州中支那		中國		東亞		南洋		北海道	
	計	自家用	計	自家用	計	自家用	計	自家用	計	自家用	計	自家用
A	九,000	六,000	九,000	六,000	九,000	四,000	九,000	四,000	九,000	四,000	九,000	四,000
B	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500
C	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500
S <sub>2</sub>	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500
D	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500
合計	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500	二,500	一,500

其ノ一(四) 内地最大電力配当表 (單位 瓩時以キロワット)



			九州		
計	自家用	事業用	計	自家用	事業用
	1	1	1,300,000	1	1,300,000
	1	1	3,300,000	1,000	3,300,000
1,000	1	1,000	3,300,000	1	3,300,000
1,670,000	72,000	96,000	5,990,000	213,000	3,860,000
1,300,000	9,000	11,000	3,200,000	27,000	3,173,000
3,770,000	90,000	1,880,000	8,990,000	240,000	6,680,000

其ノ一(イ) 朝鮮電力容量配当表

地域	需要種別	
	A	B
計	一八、一〇〇	一七、七〇〇
自家用	一	一
朝鮮總計	一八、一〇〇	一七、七〇〇
	一	一
	一、三三、四六〇	一、五〇、五三二
	一、六四、六三二	一、五八、八〇〇
合計	一八、一〇〇	一七、七〇〇

(單位 需要地十キロワット時)

其ノ二(ロ) 朝鮮最大電力配当表

地域	需要種別	
	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>
計	一	九、九五〇
自家用	一	五、五五〇
事業用	一	八、五八〇
計	一	九、九五〇
	一	五、五五〇
	一	八、五八〇
合計	一	九、九五〇

(單位 需要地十キロワット時)



計	台湾		計	台湾		計	台湾		計	台湾		計	計	計	計
	自用	事業		自用	事業		自用	事業		自用	事業				
1	1	1	630	630	630	1	1	1	630	630	630	1	1	1	630
1	1	1	670	670	670	1	1	1	670	670	670	1	1	1	670
1	1	1	390	290	390	1	1	1	390	290	390	1	1	1	390
3640	1	26470	23600	10950	12200	35560	15435	15435	15435	15435	15435	3640	26470	35560	15435
3700	210	3510	25065	1485	26660	25065	1485	26660	25065	1485	26660	3700	3510	25065	1485
38610	210	38400	54155	159080	54155	159080	159080	159080	54155	159080	54155	38610	38400	54155	159080

其ノ三(四)台湾最大電力需要表

(単位 帯電地 キロワット)

計	台湾		計	台湾		計	台湾		計	台湾		計	計	計	
	自用	事業		自用	事業		自用	事業		自用	事業				自用
1	1	1	2500	2500	2500	1	1	1	2500	2500	2500	1	1	1	2500
1	1	1	25450	25450	25450	1	1	1	25450	25450	25450	1	1	1	25450
1	1	1	1260	1260	1260	1	1	1	1260	1260	1260	1	1	1	1260
24760	1	24760	76685	69900	86585	24760	15435	15435	24760	15435	15435	24760	24760	76685	15435
22660	1050	21610	49555	36340	56195	22660	1050	21610	49555	36340	56195	22660	21610	49555	1050
226366	1050	225316	1079810	1079810	1079810	226366	1050	225316	1079810	1079810	1079810	226366	225316	1079810	1050

其ノ三(四)台湾電力需要表

(単位 帯電地 キロワット時)







重機		工作機		パルプ		硫酸		自動車		船舶		鉄道車輛		ソダ工業	
生産量	計自入	生産量	計自入	生産量	計自入	生産量	計自入	生産量	計自入	生産量	計自入	生産量	計自入	生産量	計自入
	1338	37000	461			33376	15977	36209	501	30000	2102	13878	673	36476	4924
348000	1414	42600	484			99993	13888	18400	480	45692	3366	4436	646	33668	4726
490000	360	239000	160			355000	4550	7500	100	280000	820	4040	188	71700	1400
440000	360	248000	170			350000	334000	7500	100	293000	860	3940	182	59400	1300
488000	350	257000	180			355000	334000	7500	100	300000	940	4400	194	70000	2200
487000	350	260000	180			330000	334000	7500	100	35590	930	4400	192	66000	1500
2800000	1410	600000	690			1000000	334000	25000	480	2108390	3550	7750	756	334000	5000
37		41	43					2181		192	50	196	17	485	216
1千円		1千円						(台) 総計 内C2分				(輛) 蒸気機関車 貨客電車		苛性ソーダ ソーダ灰	

26























金属工業		繊維工業		小計		公共事業		鉄道及軌道		食料品工業		研磨材		電機		カーバイト		石灰	
生産量	自家用	生産量	自家用	生産量	自家用	生産量	自家用	生産量	自家用	生産量	自家用	生産量	自家用	生産量	自家用	生産量	自家用	生産量	自家用
	403		100700	423598	50893		11384	2657	2657		10697	3866	3866	5663	405	44949	31457	31457	31457
	1533		8899	46199	4871		1400	2759	2759		644	4143	4143	644	463	8848	3887	3887	3887
	501		999	224	999		363	736	736		895	1035	1035	348	765	590	200	200	200
	501		999	224	999		363	736	736		895	1035	1035	348	765	590	200	200	200
	501		999	224	999		363	736	736		895	1035	1035	348	765	590	200	200	200
	501		999	224	999		363	736	736		895	1035	1035	348	765	590	200	200	200
	501		999	224	999		363	736	736		895	1035	1035	348	765	590	200	200	200
	2004		8400	6661	3996		1450	4074	4074		697	4140	4140	1143	810	2450	454	454	454
	326		56	415	318		08	476	476		00	00	00	760	750	81	304	304	304



合計	電燈	主要設備 (D2)									
		小計		其他		電力		化學		機械器具	
		電力	其他	電力	其他	電力	其他	電力	其他	電力	其他
4679759	160657	431973	174546	4794	4794	46	46	47959	47959	378	378
59070	188700	46893	7046	6441	6441	46	46	4792	4792	658	658
479788	44700	83598	3317	392	392	155	155	136	136	1674	1674
2527	1000	2885	285	22	22	15	15	0	0	1674	1674
268683	54500	8990	1690	1546	1546	155	155	190	190	1434	1434
25210	57000	8839	849	1546	1546	155	155	190	190	1434	1434
635653	20900	34183	7183	895	895	540	540	5841	5841	65396	65396
248	65	18	35	384	384	174	174	36	36	8	8



49

生産力充用需要 (C2)										充足率 (C1)		軍需				需率種別
石油及其代用品		非鉄金属		鉄金属		石炭		鉄		生産量	電力計 自家購入	電力計 自家購入	電力計 自家購入	電力計 自家購入	電力計 自家購入	
生産量	電力計 自家購入	生産量	電力計 自家購入	生産量	電力計 自家購入	生産量	電力計 自家購入	生産量	電力計 自家購入							
一九二六	一〇,二〇〇	五,三三三	六,三三九	一,二五七	一,〇〇七	三,八八七	三,八八七	七,二八七	六,九四五	二七九	二七九	一九,〇三九	二七,八九九	二七,八九九	二〇,〇〇一	昭和十六 年度
三四〇〇	七,〇〇〇	五,五五八	五,九四七	一,三〇四	一,〇〇四	三,九三〇	三,九三〇	六,〇〇〇	五,五五八	二五九	二五九	二二,八八六	二〇,七七八	二〇,七七八	二〇,五八	昭和十七年 (推定)
九,三五〇	三,〇〇〇	一,三五〇	一,六九五	七,五〇〇	一,一〇〇	一,〇三三	一,〇三三	一,五〇〇	一,五〇〇	二六五	二六五	六,〇八〇	五,四七〇	五,四七〇	六,一〇一	昭和十八年 第一期
九,五〇〇	三,〇〇〇	一,三五〇	一,七三五	七,七五〇	一,一〇〇	一,〇三三	一,〇三三	一,五〇〇	一,五〇〇	二九八	二九八	六,〇八〇	五,四七〇	五,四七〇	六,一〇一	第二期
九,三五〇	三,〇〇〇	一,三五〇	一,七三五	七,七五〇	一,一〇〇	一,〇三三	一,〇三三	一,五〇〇	一,五〇〇	二九八	二九八	六,〇八〇	五,四七〇	五,四七〇	六,一〇一	第三期
九,三五〇	三,〇〇〇	一,三五〇	一,七三五	七,七五〇	一,一〇〇	一,〇三三	一,〇三三	一,五〇〇	一,五〇〇	二九八	二九八	六,〇八〇	五,四七〇	五,四七〇	六,一〇一	第四期
九,三五〇	三,〇〇〇	一,三五〇	一,七三五	七,七五〇	一,一〇〇	一,〇三三	一,〇三三	一,五〇〇	一,五〇〇	二九八	二九八	六,〇八〇	五,四七〇	五,四七〇	六,一〇一	第五期
九,三五〇	三,〇〇〇	一,三五〇	一,七三五	七,七五〇	一,一〇〇	一,〇三三	一,〇三三	一,五〇〇	一,五〇〇	二九八	二九八	六,〇八〇	五,四七〇	五,四七〇	六,一〇一	計(II)
八,一〇〇	二,〇〇〇	四,〇〇〇	一,八〇〇	五,二〇〇	一,二〇〇	四,三〇〇	四,三〇〇	一,一〇〇	一,一〇〇	三〇六	三〇六	一六,〇〇〇	一七,三三三	一七,三三三	五,〇〇〇	増減率 % I
原油 燃料油		銅(鉄)		アルミニウム ステンレス シリカ				音響鉄 フエルト イ								備考

三、台湾

(単位) 電力計 消費地 千キロワット時  
生産量

34







合計	電燈	業 (D <sub>2</sub> )													
		小計	電力	他	化学	机械	其他	化学	机械	其他	化学				
購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入	購入
1,415.83	1,044.11	2,733.32	2,495.11	91.9	69.3	69.3									
1,847.33	1,177.50	3,600.00	3,278.8	321.2	321.2	321.2									
2,808.76	2,389.11	6,900.00	6,390.00	510.00	510.00	510.00									
3,788.88	3,255.66	9,600.00	9,000.00	600.00	600.00	600.00									
4,663.06	4,037.37	12,600.00	11,800.00	800.00	800.00	800.00									
5,548.35	4,860.00	16,200.00	15,200.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00									
6,433.63	5,637.00	20,400.00	19,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00									
7,318.91	6,514.00	25,200.00	23,800.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00									
8,204.19	7,391.00	30,600.00	28,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00									
9,089.47	8,268.00	36,000.00	33,600.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00									
10,000.00	9,145.00	42,000.00	39,600.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00									



新聞發表

昭和十八年度電力動員計畫に就て

昭和十八年五月三日  
企業院 總裁 談

昭和十八年度電力動員計畫はかねて企業院に於て、關係各廳と緊密なる連繫の下に鋭意策定に努力中であつたが本日、閣議に於て之が決定を見るに至つた。

昭和十八年度は戦局の決定的段階を突破すべき重大時期に際會してゐるので、電力動員の重點は之を實現物資の生産増強の一點に集中し、特に航空機及船舶の飛躍的増産を目途として、凡ゆる方策を電力に實行することとした。

先づ電力の配當に於ては

(一) 直接戦力の増強に關係ある生産を確保する爲徹底的に重點配當を實施することとした。即ち軍需其の他の超重點物資の生産に必要な電力は萬難を排しても其の供給の確保を期した。

(二) 更に生産擴充計畫産業、主要食糧増産、交通事業その他國民戦時



生活確保上必須の需要に對しては優先的に電力を配當することとした。

同 尙電力の配當計畫は之を四半期別に策定し電力需給の期間調整の方針を明かにした。即ち重要物資の生産を四月乃至六月の豊水期間に集中配當するやう電力を配當すると同時に勞務、資材及輸送等に關し特段の處置を講ぜんとするものである。

同 多量に電力を使用する工場の新増設に當つては電力との關係を充分考慮し産業立地と動力との綜合調和を圖ることとした。

次に供給力の増強に付ては

一 當面の緊急需要を充足する爲戰時的建設方式を強力に推進すると同時に電氣供給事業及自家用施設の一元的運用態勢を整備して既設電力設備の最高度の活用を圖ることとした。

二 供給力の緊急増強に對しては單に設備の擴充に依る増加のみに依存することなく湖沼の利用、溪流の取入等を一層強化する外電力使



55  
用の合理化を徹底化し之等を凡て動員供給力として計畫に繰込むこととしたのである。

斯くして極力緊急需要の充足を圖つたのであるが其の反面に於て工場、  
銀山、事務所及國民生活の全般を通じ電力使用の合理化と消費規正の  
勵行を必要とするのである。

此の際國民の一人一人が各々の職場に於て又其の家庭にあつて凡ゆる  
努力と創意を凝し徹底的な電力節約を實行して之を悉く戦力の増強に

振り向ける覺悟と實踐とが絕對に必要である。

戦局の進展と事變の推移に伴ひ之に即應する必勝戰勢を確立すること  
が絶対必要なる今日、生産増強の基本的要素たる電力の重要性に深く  
思ひを致し全國民舉げて本動員計畫の進行時に電力の節約に對し全輸  
的に協力せられんことを切望して已まないのである。

(終)